

四國區	德島	香川	愛媛	高知	九州區	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿兒	沖繩
	五三、八〇〇	九七、一七〇	九三、六〇〇	五〇、三〇〇		二四三、三〇〇	一四〇、六〇〇	六〇、七〇〇	一九三、四〇〇	一四三、三〇〇	一〇八、七〇〇	一、五三、九三〇	二一、〇〇〇
	△	△	△	△		△	△	△	△	△	△	△	△
	五三、八〇〇	三九、四〇〇	三〇、九〇〇	九九、八〇〇		七六、九〇〇	七、五〇〇	六八、〇〇〇	二六、九二〇	六七、五〇〇	三五、五〇〇	一三、〇五〇	三、五九〇
	△	△	△	△		△	△	△	△	△	△	△	△
	五三、七〇〇	一〇五、四〇〇	三三、三五〇	一九、八三〇		六三、三三〇	三三、三三〇	三三、八〇〇	五三、四〇〇	三三、七〇〇	四、四〇〇	七四、三三〇	八、五五〇
	△	△	△	△		△	△	△	△	△	△	△	△
	一一、六七〇	三三、四三〇	一八、八〇〇	六六、一四〇		七九、七〇〇	七〇、六三〇	五四、五〇〇	八四、五〇〇	六九、一五〇	一九、七五〇	二四、六三〇	一、九

備考 沖繩ノ今回ノ豫想收穫高ニハ第二期作ノ分ヲモ合ム

統計主任異動

(上ノ新任括弧内ハ舊)

昭和十三年十一月四日 久慈郡河内村 全 吉井 益郎 (加倉井 仁)

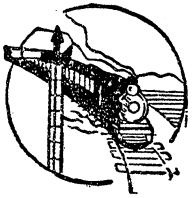
鈴木 芳之介 (森 留藏) 人口 全 十一月二日 那珂郡菅谷村 海野 庫造 (平野 耕)

十月二十四日 水戸市 佐野 貞雄 (近藤 正一)

十一月一日 筑波郡小田村 全 大内 武男 (平澤 政馨)

十一月十四日 西茨城郡大原村 全 郡司 圭介 (石井 隆一)

十一月二十九日 久慈郡宮川村 全 十一月二十九日 久慈郡宮川村 近津 義任 (菊池 秀介)



各地統計雜信

鹿島郡支部統計 事務研究會

鹿島郡支部統計事務研究會は昨年十一月十二日鹿島町役場で開催した。縣統計課より統計主事補が出席、午前十時三十分出席者一同鹿島神宮神前に於て皇軍武運長久祈願祭を施行、酒井支部長より開會の挨拶に續て縣提出事項に就き部主事補より詳細説明の後質疑應答を行ひ閉會した尙出席者は左の通りである。

- 夏海村(今泉書記) 大谷村(豊田書記)
- 沼前村(眞家書記) 巴 村(重藤書記)
- 徳宿村(高崎書記) 諏訪村(酒井助役)
- 餘田町(竹内書記) 新宮村(井川調査員)

- 上島村(中根書記) 白鳥村(菅谷書記)
- 中野村(小澤書記) 波野村(大川書記)
- 豊郷村(錦織助役) 豊津村(野口書記)
- 鹿島町(武藤書記) 高松村(木瀧書記)
- 息栖村(大塚書記) 輕野村(保立助役)
- 若松村(菅野書記) 波崎町(石川書記)
- 矢田部村(長谷川書記)

北相馬郡西部統計 事務研究會

昨年十一月二十四日北相馬郡菅生村役場で北相馬郡西部統計事務研究會を開催、縣より小倉屬が出席、午前十時半副會長岩田守谷町助役の開會の辭に引續き會長互選の件及び會則一部變更の件を議したる後小倉屬より會議要項

につき説明をなし閉會した。當日の出席者左の如し

兼子書記(内守谷) 染谷履(大野) 渡邊書記(高野) 古谷書記(小絹) 岩田助役 田中書記(守谷) 大串助役(大井澤) 直井書記(坂手) 野口書記(高井) 平間村長、大瀧書記、大瀧(達)履(菅生)

久慈郡東部統計 事務研究會

久慈郡東部統計事務研究會は昨年十一月二十四日二十五日の兩日同郡坂本尋常高等小學校に於て開催、縣より高島屬が出席した。午前十時福田坂本村助役の開會の辭に續いて高島屬より一般統計事務に對する指示並に農林統計に關する注意あり、特に米生産統計に付ては詳細に亘り研究し質疑應答を重ね散會した、尙出席者左の如くである

福田助役、大内書記(坂本村) 片野書記(東小澤村) 高野書記(西小澤村) 岡田書記(幸久村) 助川書記、安書記(郡戸村) 富永書記(久米村) 和田書記(山川村) 柳書記(譽田村) 渡邊書記(佐都村) 鈴木書記(河内村) 五來書記(久慈町) 小祝幹事(久慈郡町村長會)



歌短

丹 四郎選

『冬雜詠』

(賞)

新治郡藤澤村 愛村 耕夫

蟠居せる敵匪も今は歸順して山西連峰雪かがやけり
男の子もちし甲斐ありけりと應召の吾子の門出に宣らす母は

ただなはる雪のアルプス目に頼ちて甲斐の平の冬空かすみぬ

結城郡西豊田村 古橋 梅吉

今日も亦西吹かむかも朝より寒きを推しつ麥肥するも

納屋ぬちに飼葉切り居れば冷やかに夜風は吾れが頬吹きにけり

稲敷郡太田村 五十嵐 康尊

勤より戻りて明日検査する吠を三把縫上げにけり

吠縫ふ指先寒く成りしころ夜廻り人の聲かけて行きぬ

稲敷郡生板村 關野 貴

收穫なき空田さびしもこの日またあきらめつゝも田打ちしにける

行方郡武田村 塙 草風

村びとの皆面伏せて出迎へる郷友の英靈驛に入りけり

水戸市袴塚町 大高 靜香

日章旗高く揚げて漢口の平和を祝ふ春はきにけり

行方郡大和村 六 統生

冬ざりし湖の畔りの白樺の枯るゝ梢に見ゆる筑波嶺

稲敷郡岡田村 諸岡 竹山

西除けの垣の日向に日もすがらわが猫の子の眠り居るなり

行方郡武田村 塙 勇

思ふ度胸のすく報にありけるよバイアス灣の敵前上陸

稲敷郡生板村 關野 幽村

初霜に萎ゆる草原しづかなり汽笛の音のかすかに聞ゆ

鹿島郡大谷村 山口 俊

嚴寒に戦ふ友を偲びつゝひたすら我の勤めを勵む

鹿島郡中野村 高田 靖

戦場の兄に陰膳するながら屠蘇祝ひけり軍國の春

那珂郡八里村 川野邊 まさる

山里の藁屋の門に來し春の戦捷を誇ぐ日の丸の旗

『初春雜詠』 『芽』 十首以内

次回課題



柳川

山中 緋郎選

『雜詠』

行方郡武田村 塙 谿水

颯爽と汽車へ乗込むスキヤー

稲敷郡岡田村 諸岡 竹川

身を忘れ家を忘れて神となり

眞壁郡川西村 佐藤 紫水

身の程を知り安直に飯が濟み

那珂郡八里村 河野邊 勝

銀狐スフを着てゐるしわが見え

水戸市 大高 靜香

初島田化粧の笑顔ちらと見せ

新治郡高濱町 木村 筑峰

出征の兄の野良着のだぶぶさ

鹿島郡豊郷村 石津 調六

豊作の藁注連繩の色によさ

東茨城郡渡里村 小林 新人

喫茶部の椅子は逆さのまんま朝

戦線の人へ濟まなく猪口を受け

水戸市 本郷統計子

産褥の妻へ小寒き身の廻り

多賀郡豊浦町 大友 松風

次號課題

『梅』

締切 三月一日

宛名 茨城縣廳内統計協會



俳句

前田 猶春選

『雜詠』

凍土に馬の糞する初 荷かな

鹿島郡井野村 高田 曉香

南天の實のこぼれたる霜の上

行方郡延方村 黒須 一雄

東茨城郡石崎村 櫻井星光
電線に爪をとられて泣く子かな
行方郡武田村 境 翁水

寒の鮒氷の下に動きけり
新治郡高濱町 木村 筑峰

子に和して軍歌を唄ふ松の内
猿島郡逆井山村 青木 白流

國を思ふこゝろひとすじに枯野ゆく
鹿島郡豊郷村 石津 調六

雪風のさらりと注連を渡りけり
新治郡藤澤村 吉沼 愛村

萱刈つて山廣々と今朝の雪
緋引 月歩

千大根軒いつばいに吊られけり
水戸市袴塚町 大高 靜香

初日さすや清淨と居る池の鯉
那珂郡小瀬村 廣木 貞幹

枯れすゝき鳴る夕空の雀かな
鹿島郡中野村 高田 靖

霜柱軍靴のさきに崩れけり
筑波郡久賀村 幸田 芳春

凍る夜の人みな黙すホームかな

行方郡潮來町 石津 孤舟
渡船呼ぶ聲透る利根の暮
那珂郡八里村 川野 逸 勝

嶺を越えて落葉をさらふ人見たり
鹿島郡白鳥村 飯岡 對馬

日溜りに老のたむろす冬椿
行方郡武田村 堀 草風

埋火や戦さの話作話
稲敷郡岡田村 諸岡 寒月

一廻りして来て酒の夜警かな

秀逸

賞

行方郡大和村四鹿内 田 六統生

猿曳きの猿を愛する子の如し
雪晴れのあたり靜かなる月夜かな
木枯や闇にそびゆる 筑波山

次の課題 『淺春雜詠』

締切 三月五日嚴守
秀逸 粗賞を呈す

編輯後記

★ 明けましておめでたう御座います。皆様と共に祝盃を擧げて天壽の萬歳を奉祝し、皇軍の武運長久を慶祝祈願する事の出来る有難きをしみじみ味ひ得るのは欣快に堪へません。就後にある私共は愈々一致結束、新東亞建設の大理想に協力する事を誓ひ、町や村、本縣の振興に邁進する覚悟を強しやうではありませんか。

★ 新春當初に扶間知事が榮轉され、従つて本協會總裁を辭されたのは心残りでありません。扶間總裁は滿一年間縣下の統計事務について理解ある指導と有力な支援を下さつた事に就ては篤く御禮を申し上げると共に決袂愛惜に堪へません。新總裁吉永知事は會つて本縣警察部長の要職にあつた事もあり、縣内の事情に通曉した温厚な紳士でありますから、新總裁の人物手腕に信頼し縣下統計界の躍進に貢献せらるゝところからさがるべきを皆様と共に期待したいと思います。

★ 縣統計協會の生みの親、育ての親、本誌の誕生から今日迄に成長させた縣統計課長縣統計協會副會長川崎末吉氏の勇退は餘りにも突然であり、縣下統計界にとつては大

茨城統計と 廣告の効果

『茨城統計』は縣下三百七十八ヶ市町村及び各市町村の統計調査員約四千名は勿論縣下各種團體、會社工場等に配付し、中央各省、道府縣へも漏れなく配付するものにて廣告の効果偉大なるものがあると信じます。

◆ 本誌の廣告料金は左の通りです

- 特別 (一頁(表紙表裏) 金拾五圓)
 - (半頁(同) 金八圓)
 - 普通 (半頁(四分ノ一) 金四圓)
 - (四分ノ一) 金貳圓
- ▼ 同一廣告を引續き二回以上のときはは一割五分、五回以上のときは二割の割引をします。
- ▼ 廣告に寫眞挿入又は木版を要するものは其の費用を別に申受けます
- ▼ 廣告料は前納に願ひます。

茨城縣廳内 茨城縣統計協會

きな打撃であります。川崎氏の手腕功績に就ては今更ら蛇足を附す事を避けます。只在職十餘年、微々として振はなかつた縣下の統計事務を刷新整理して全國の首位にのぼせた川崎氏の眞摯な熱意と、行政的手腕才能とに對し滿腔の敬意を表し、終始一貫温情溢るゝ鞭撻と、強い信念のもとになされた指導とに心から感謝、其の前途に祝福を祈りて惜別の至情と致したいと思います。

★ 嚴寒各位の御自愛と本年の御多幸とを祈り、本誌の躍進を誓つて擱筆致します。

— 加藤敬愛 —

昭和十四年一月十三日印刷
昭和十四年一月十五日發行

(隔月一回十五日發行)

一部金十錢

水戸市北三ノ丸茨城縣廳
茨城縣統計協會内
發行兼編輯人 川崎末吉
水戸市南三ノ丸一〇七ノ二
印刷所 柴 印刷所

水戸市北三ノ丸 茨城縣廳内
發行所 茨城縣統計協會